

戰史資料

戰車第七聯隊第三中隊(沖繩縣宮古島)

陸軍大尉 清野 安貞

一、編成裝備關係

1. 指揮班(8名)第一、三小隊(各10名)整備班(15名)配屬修理小隊(2名)

配屬軍醫(2名)衛生下士官(名)主計(名)主計下士官(名)計 24名

指揮班(中戰車二、輕戰車二)第一、三小隊(中戰車三)配屬修理隊

(貨車四)

2. 中隊長 陸軍大尉 渡辺見米

小隊長 同 右 清野 實

同 右 陸軍中尉 齊藤 是男

同 右 同 右 増田 行雄

同 右 同 右 花田 芳之(戦死)

軍醫 陸軍軍醫中尉 東 芳

主計 同 主計中尉 松本 貞雄

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32

3. 人員 昭和二〇、三一 花田芳之戰死、その他増減ナシ  
兵器 増減ナシ

4. 現地住民ヲ終戦ニ至ル迄 概テ100% (二百平均) 使用ス  
部隊履歴、概要

昭和一九、四、三〇 部隊編成完了  
同 六、三〇 勃利発

同 七、一七 官古島上陸 同島警備  
目昭和二〇、三、二六 沖繩作戦ニ参加 (於官古島)  
至同 六、二〇

三. 編成當時、戦車第二師団、隷下  
官古島上陸後、第二十八師団 配属部隊

四. 作戦準備関係

1. 尙當初ニ方針トシテ敵ノ上陸ニ當リテハ、主陣地前ニ引キツ  
ケテ要減逐次陣地強化スルニシレ水際要減ニ変更ス

待機位置置ヲ福里ニ豫備待機位置置ヲ大瀬原ニ設ケ  
射撃位置置ハ主トシテ嘉手川一ノ下地ノ正面ニ配備ス

2. 陣地ノ状況

1. 昭和一九、八、一 一日平均兵力六〇名乃至七〇名 使用人夫 四〇(男女)  
円形、十字、爆薬

2. 昭和二〇、六、三〇 概成 概テ二〇% 爆弾ニ対抗シ得  
11. 敵攻要ニヨル破壊ナシ

3. 概成ノ状態ニアリ  
3. 作戦準備ニ関スル主要ナル命令ノ内容

書類携行シアラザルコト不明  
主カヲウツラ岑ノ集積所ニ、一部ヲ福里待機位置置上陸  
ニ集積ス

輸送ハ全テ自隊所有ノ貨車ヲ以テス

現地自活ハ本年三月以降本格時化シタルモ、未ダ完全自活  
ノ態勢ニ確立セザリキ

5. 概不一周 三〇〇。実兵訓練 二、六〇。時向 同上教育  
精神訓話 一週 二〇〇。

五、戰鬥概況

1. 沖繩作戰ニ参加セルモ、何等敵ト戦セテ交ハス  
空爆一日概テ四、五回、艦砲射撃ヲ一回受ケタルニ
2. 五月上旬一度未龍(十三隻)戦艦駆逐艦ヲ主トス  
約一時間ニ亘リ艦砲射撃ヲ加フ。
3. 昭和一九、二〇、初、空襲(一〇機内外)ヲ受ケタルモノ後久シ  
ク絶エ、昭和二〇年ニ至リ遂次本務化シ三月頃ヨリ沖繩  
作戰ニ併行シ四月以降、概不(一日五、六回(二〇、一〇機))  
主トシテ艦爆ノ攻撃ヲ受ケ、
4. 一日一、二機
5. 捕虜トシテ收容シ、情報、蒐集ニ使ス。

六、給養衛生

給養ハ島、面積ニ比シ人員數過多ノ事、逐次悪化シ  
本年三月以降、大イニ現地調達ニ努メレタリ、持ニ副食ハ  
欠乏ヲ極ムタリ、  
島民、衛生ニ思慮何ク、又部隊ノ陣地作業ニ逐シテ、衛生  
成績ニ極メテ悪シ、持ニミタリヤニ、相當者シムクレタリ、  
七、終戦ヨリ歸還迄ノ行動ノ概要、  
終戦後ハ部隊ヲ全テ福里ノ待機位置ニ集結セシム、  
重点ヲ現地調達ニ指同レ大イニ給養、不足ヲ講フト其ニ  
一部ヲ留去リテ以テ普通者(常識)ノ教育ヲ行フ

摘要

隊長 淺留 陸軍大尉 清野 実 代理